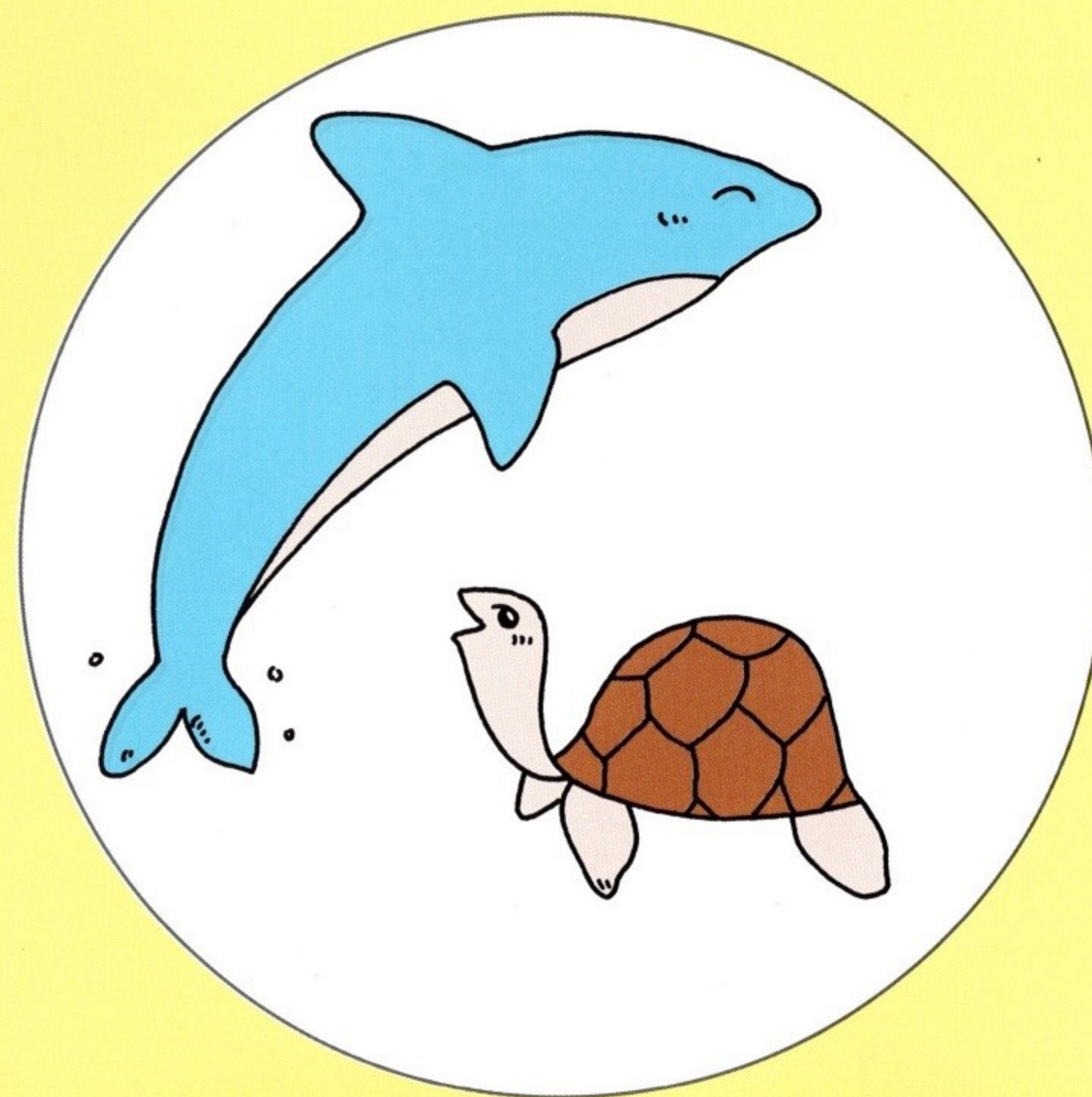


幼児のための知能開発ワーク

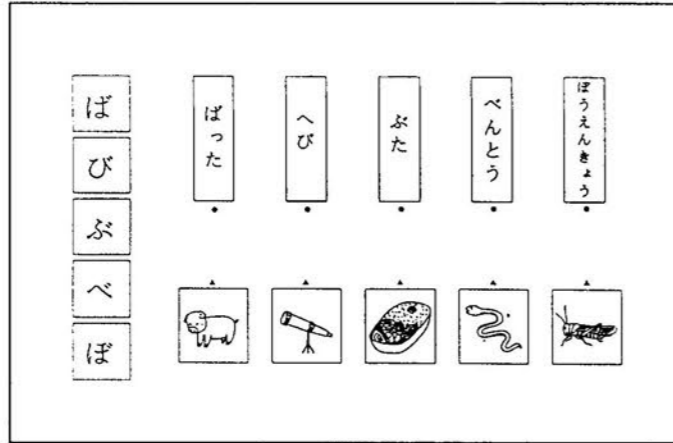
# すくすくどんどん

9



# 〈 目次 〉 Aシリーズ9号

分野	学習項目	ページ	学習内容
A. 言語	濁音（ば行）	1	◎濁音「ば」～「ぼ」の読み
		2	「 <sup>・</sup> 」がつくとどんなことばになるか考える
	同尾語（ま行）	3	○ひらがなのことばを読んで、それにあう絵を選ぶ
		4	同じ音で終わるもの（絵）をむすぶ
	ひらがな（ま行）	5	○空所にひらがなを入れて、ことばを完成させる
	（や行）	6	
	反対語	7	「高い」「低い」「はやい」「おそい」など
	歌	8	「げんこつ山のためきさん」
B. 図形	書く（点つなぎ）①	9	数字（1～10）の順に点をつなぐ
	②	10	指定された数だけ点をつないで形をつくる
	対称図形（折り紙）①	11	2つ折りにした紙をひらく（よく似た形）
	②	12	2つ折りにした紙をひらく
	③	13	2つ折りにした紙をひらく（複雑な切りかた）
	④	14	4つ折りにして切ってひらく
	対称図形（鏡）	15	文字・数字・時計などのうつり方
	図形の合成 ①	16	三角形の板を使って、同じ形をつくる
	②	17	積み木の組合せ
	③	18	色板の構成
	④	19	基本図形を3つに切るとどんな形になるか
	C. 数・量	数の多少 ①	20
②		21	3種類の物の数を数えて、どちらが多いかを判断する
ひき算 ①		22	ひく2
②		23	
③		24	ひく3
④		25	
数の分割 ①		26	◎実際に具体物を使って、それを2人で分けるといくつ
②		27	ずつになるかを考える
③		28	
④		29	3人で分けるといくつずつになるかを考える
D. 記憶	お話の記憶 ①	30	◎個々の要素の関係に着目して、記憶する
	②	31	
	絵の記憶（記憶）	32	
	（解答）	33	
E. 常識	時刻 ①	34	時計の針の動き方に着目して、時刻を理解する
	②	35	時刻を読み取って、話の通り生活場面と時刻をむすぶ
	仲間集め	36	仲間はずれをみつける
	生活用具の用途	37	一緒に使うものをむすぶ
	道徳	38	よいことをしているか、悪いことをしているかの判断
	昔話	39	昔話のお話の順序を考える
F. その他	課題画	40	与えられた課題にあう絵をかく



## 【問題】

（左はしのひらがなを読んで、復唱させて下さい。）

「ば」「び」「ぶ」「べ」「ぼ」

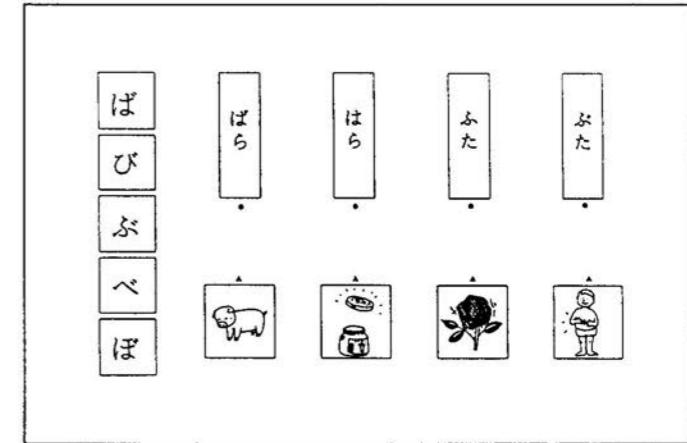
1. 上の段のことばを1つずつ読んで、それにあう絵と線で結びましょう。
2. 上の段のことばで、最初に「ば」のつくものに、赤の○をつけて下さい。  
左はしのひらがなの「ば」にも、赤の○をつけておきましょう。
3. 上の段のことばで、最後に「び」のつくものに、青の○をつけて下さい。  
左はしのひらがなの「び」にも、青の○をつけておきましょう。
4. 上の段のことばで、最初に「ぶ」がつくものに、緑の○をつけて下さい。  
左はしのひらがなの「ぶ」にも、緑の○をつけておきましょう。
5. 上の段のことばで、最初に「べ」のつくものに、茶色の○をつけて下さい。  
左はしのひらがなの「べ」にも、茶色の○をつけておきましょう。
6. 上の段のことばで、最初に「ぼ」のつくものに、紫の○をつけて下さい。  
左はしのひらがなの「ぼ」にも、紫の○をつけておきましょう。

## 【解答】

1. 
2. ばった
3. へび
4. ぶた
5. べんとう
6. ぼうえんきょう

## 【指導のポイント】

ことばを1つずつ指で示しながら読んであげて、子どもにも復唱させて下さい。最初から無理にひらがなを読ませようとせず、読み方を耳で聞かせながら、対応する文字を目で確認させることが大切です。



## 【問題】

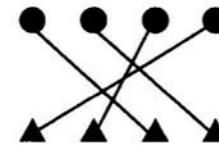
（左はしのひらがなを読んで、復唱させて下さい。）

「ば」「び」「ぶ」「べ」「ぼ」

上の段のことばを1つずつ読んで、それにあう絵と線で結びましょう。

「<sup>ˆ</sup>」に注意して、間違えないようにしてください。

## 【解答】



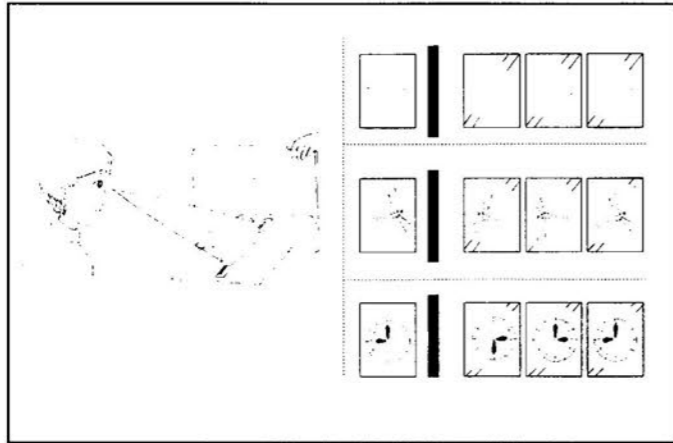
## 【指導のポイント】

子どもが濁音に興味を持つように、「<sup>ˆ</sup>」をつけるとまったく違った言葉になるものを集めてみました。ことば「遊び」を楽しみながら、学習を進めて下さい。このほかにも、「<sup>ˆ</sup>」がつくと変わる言葉を考えてみるとよいでしょう。

15

## 図形／対称図形（鏡）

A9



## 【問題】

黒いながしかくのところに鏡をたてて、左側の絵をうつします。左上から鏡を見ると、どのように見えるでしょうか。右側から選んで、だいで○をつけて下さい。

## 【解答】

(上) → 右はし  
 (中) → 左はし  
 (下) → まんち

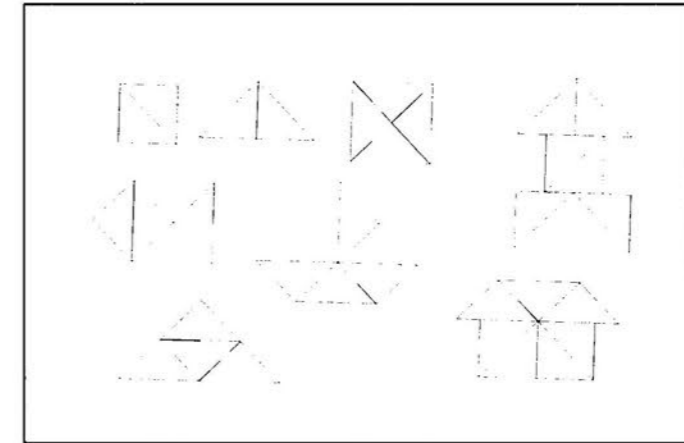
## 【指導のポイント】

実際に、いろいろなものを鏡にうつして見せてあげて下さい。鏡にうつった絵は、左右が逆になることを、子どもにしっかり確認させましょう。

16

## 図形／図形の合成

A9



## 【問題】

三角形のカードを並べて、同じ形を作ってください。その形を作るのにカードを何枚使ったか、数えましょう。

## 【解答】

(省略)

## 【指導のポイント】

図形パズルや、折り紙を三角形に切った（折った）ものを使って、いろいろな形を作って遊ばせましょう。図形の能力は、そのような遊びの中で養われていきます。

濁音（ば行）

月 日 なまえ

A - 9 - 1

ば

び

ぶ

へ

ぼ

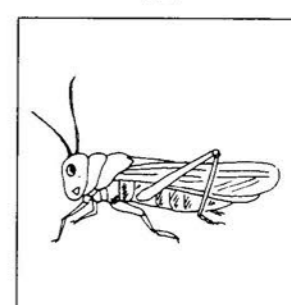
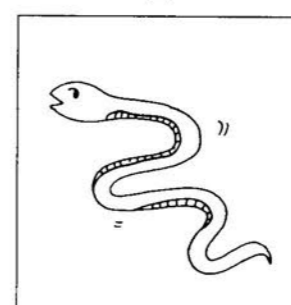
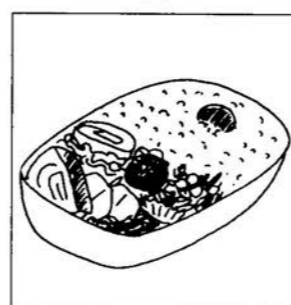
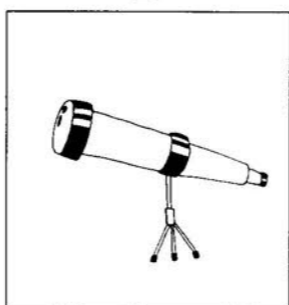
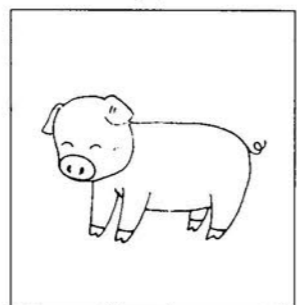
ばった

へび

ぶた

べんとう

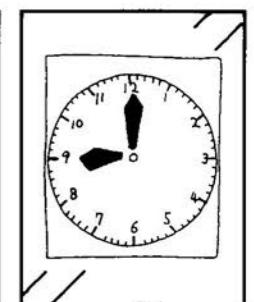
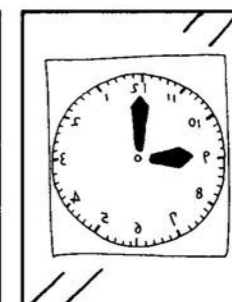
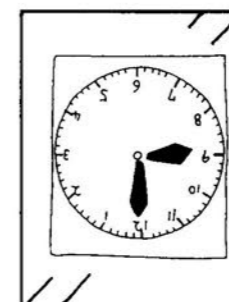
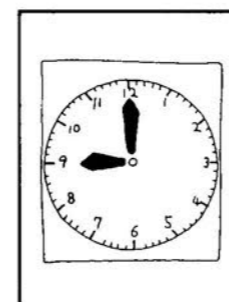
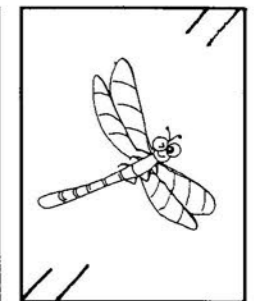
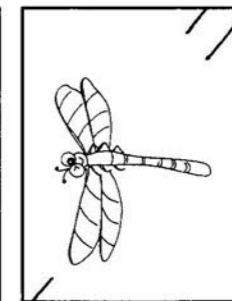
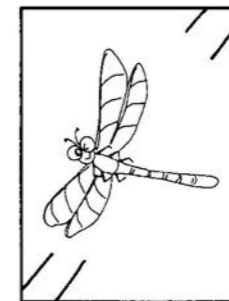
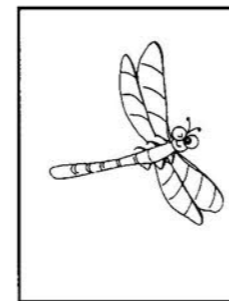
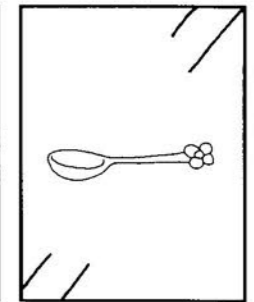
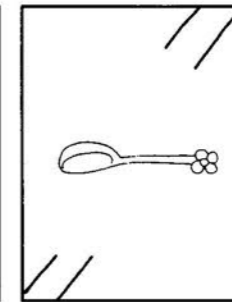
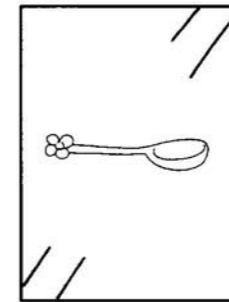
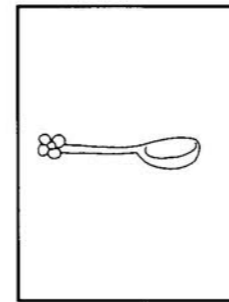
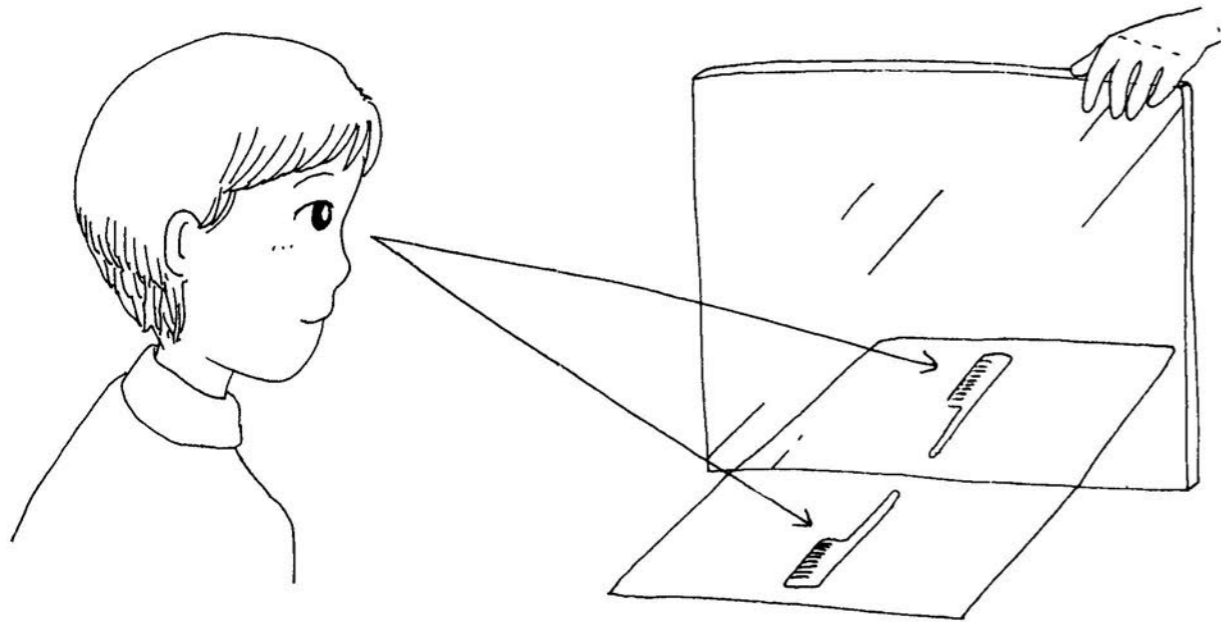
ぼうえんきょう

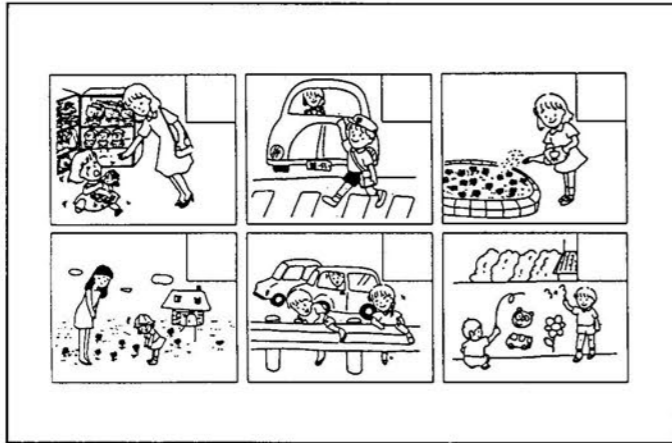


# 鏡

月 日 なまえ

A - 9 - 15





## 【問題】

よいことをしている絵には「○」を、悪いことをしている絵には「×」を書いて下さい。絵の右上の箱の中に、緑で書いて下さい。

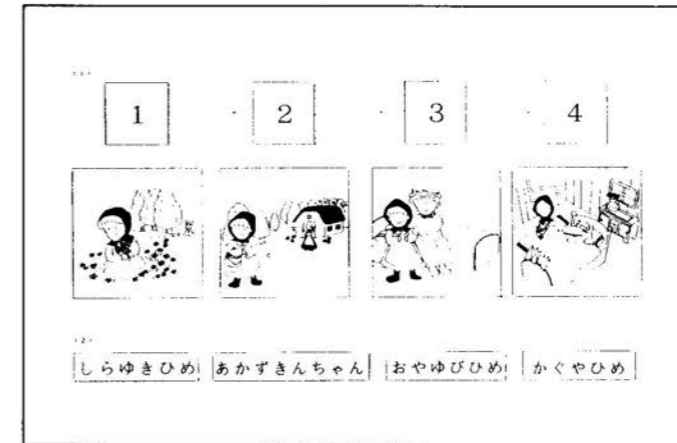
## 【解答】

(左上) →×                      (まん中上) →○                      (右上) →○  
 (左下) →○                      (まん中下) →×                      (右下) →×

## 【指導のポイント】

絵を見て、何をしているところかをまず、子どもに言わせて下さい。それから「よい」「悪い」の判断をさせましょう。

なぜそれが悪いのかも、説明してあげて下さい。(けがをする、他人迷惑になるなど)



## 【問題】

## (1)

1. お話の順番に、絵を並べます。一番最初の絵は、どれでしょうか。黄色の○をつけて下さい。数字の「1」にも、黄色の○をつけておきましょう。
2. 二番目の絵は、どれでしょうか。だいだいの○をつけて下さい。数字の「2」にも、だいだいの○をつけておきましょう。
3. 三番目の絵は、どれでしょうか。緑の○をつけて下さい。数字の「3」にも、緑の○をつけておきましょう。
4. 一番最後の絵は、どれでしょうか。青の○をつけて下さい。数字の「4」にも、青の○をつけておきましょう。

(2) これは、何というお話でしょうか。お話の名前に、茶色で○をつけて下さい。

## 【解答】

- (1) 1. 左から2番目  
 2. 左はし  
 3. 右はし  
 4. 左から3番目  
 (2) あかずきんちゃん

## 【指導のポイント】

日頃から、いろいろな昔話や物語などを、読み聞かせてあげて下さい。有名なものについては、ストーリーや登場人物を常識として知っておくことが必要です。

